

議案第 1 号

横手北スマートインターチェンジ整備効果及び利用促進策について

【要旨】

昨年度までの横手北スマート I C 地区協議会で承認いただいた、横手北スマートインターチェンジの利用促進策の実施状況と、データ収集等により検証を行った整備効果について報告するとともに、今後の利用促進策を協議いただくもの。

▼利用促進策

○横手北スマート I C の周知徹底・強化

- ・横手北スマート I C 利用促進のため、秋田市や県北方面の観光客や来訪者を対象に周知徹底・強化として、ポスター・チラシを作成し、道の駅「たかのす」をはじめ 11 箇所にポスターの掲示とチラシを設置。またイオンスーパーセンター横手南店で秋田道 4 車線化 P R ルームにチラシを設置。

▼整備効果

①供用開始後 7 年目の利用状況

- ・横手北スマート I C の 1 日あたりの平均利用交通量は、計画交通量 970 台/日に対し 1,110 台/日 (+140 台/日)
- ・横手北スマート I C と前後 I C (横手 I C ・大曲 I C) の 1 日あたりの平均利用交通量合計は、横手北スマート I C 開業前の約 10,600 台/日に対し 9,690 台/日 (▲910 台/日)

②高速道路の利便性向上

- ・大森・大雄地域や市北西部からの高速道路へのアクセス性が向上し、地域住民の広域活動の活性化につながっている。
- ・曜日毎の利用状況を分析した結果、横手北スマート I C は日常利用が多いことが推察され、周辺住民の利便性向上につながっている。

③地域活性化の支援

- ・各種イベントや温泉施設等の利用者の誘客につながっている。地域間交流の促進に寄与している。

④医療支援の強化

- ・大仙市から平鹿総合病院への救急搬送時間が短縮され、救急救命医療に貢献している。

⑤地域災害支援の強化

- ・災害応援自治体から横手市内の洪水避難場所への迅速な救護活動、救援物資輸送が可能となり、地域住民の安全・安心につながる。

▼今後の利用促進策

- 今年度に引続き、秋田市や県北方面の観光客や来訪者を対象にE T C割引内容や横手の観光地と利便性向上の紹介を盛り込んだポスター・チラシを作製して、目に留まりやすい道の駅（中央・県北地区）や休憩施設、観光施設へポスター・チラシを設置してP R活動を実施

▼その他

- 大曲花火大会当日の横手北スマート I C利用状況の紹介